

# 2024年版環境レポート



発行年月日：

2024年11月4日



有限  
会社

森木組

# 目次

組織の概要	1
対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
環境経営方針	3
環境管理組織体制	4
環境活動の状況	5
環境経営目標	6
環境経営計画	7
環境経営目標の実績 環境経営目標の過去実績（グラフ）	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9
次年度の取組内容 （1）環境経営目標 （2）環境経営計画	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並び違反、訴訟等の有無	11
代表者による全体評価と見直し・指示の結果	12

発行日： 2024 年11月4日  
発行責任者：環境管理責任者 保木龍一郎

次回発行予定： 2025 年11月頃

# 1.組織の概要

【事業所名】 有限会社森木組

【代表者氏名】 代表取締役 森木正一

【所在地】  
本社 高知県吾川郡いの町4972番地1

## 【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 保木龍一郎  
連絡先担当者 四宮 柊  
連絡先 TEL: 088-892-3609  
FAX: 088-893-4797  
E-mail: morikigumi@viola.ocn.ne.jp

## 【事業活動の内容】

### 建設業

#### ・建設業許可

許可番号: 高知県知事許可(特-4)第5657号

許可年月日: 2022年7月26日

建設業の種類: 土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業  
石工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業  
しゅんせつ工事業 水道施設工事業  
塗装工事業 解体工事業

・産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号:03900060178(自社分のみの収集運搬)

許可年月日:令和6年4月9日

## 【事業規模】

設立年月日 1985年3月11日

資本金 2,000万円

		2022 年度	2023 年度	2024 年度
工事件数	(件)	66	80	61
完工高	(百万円)	589	448	713
従業員数	(名)	26	23	21
事業所敷地面積	(㎡)	660	660	660
事業所延べ床面積	(㎡)	162	162	162

従業員数は、8月31日現在

会計年度 前年9月 ~ 当該年8月

## 2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 【対象範囲（認証・登録範囲）】

認証・登録事業者名：有限会社森木組

---

対象事業所：全社（本社） 高知県吾川郡いの町4972番地1

---

事業活動範囲： 建設業

---

（ 土木工事業	建築工事業	とび・土工事業
石工事業	鋼構造物工事業	舗装工事業
しゅんせつ工事業	水道施設工事業	）

---

※塗装工事業、解体工事業、産業廃棄物収集運搬業については、業としての実績がないため、対象外。

### 【レポートの対象期間】

2023 年9月 ～ 2024 年8月

---

### 【環境レポートの発行日】

2024 年11月4日

---

### 【作成責任者】

環境管理責任者 保木龍一郎

---

## 対象と稔持続可能な開発目標 (SDGs) 範囲

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs No.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO <sub>2</sub> 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO <sub>2</sub> 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

### 3.環境経営方針

#### 【環境経営理念】

有限会社森木組は高知県吾川郡いの町を中心に、土木工事、建築工事の建設業を行なっています。事業活動を通じて、心豊か、緑豊か、環境負荷の少ない社会を目指しております。

建設業の事業活動において環境負荷低減を行ない、継続的改善による環境経営を推進し、次世代に豊かな自然環境を引き継いでいくことに努めます。

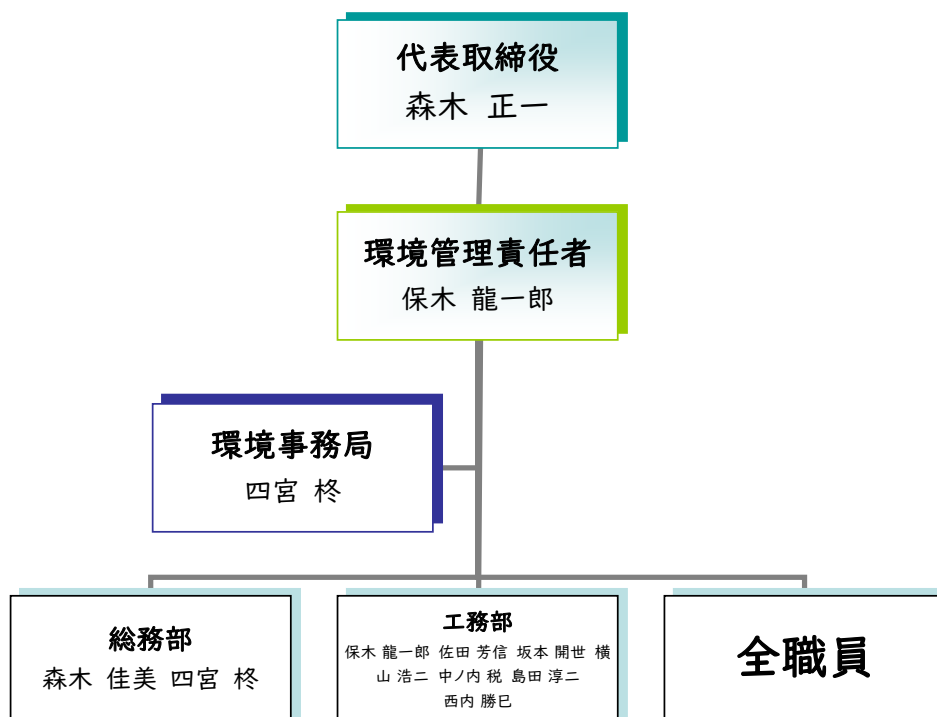
#### 【基本方針】

以下の方針を決めて、積極的に取り組みます。

- 1 資材調達から施工までの各段階において、環境負荷の少ない事業活動を推進していきます。
  - (1) トラック・重機・車輛の燃料使用量削減を行ない、二酸化炭素排出量削減に努めます。
  - (2) 事務所・現場における電力使用量削減を行ない、二酸化炭素排出量削減に努めます。
  - (3) 工事及び事務所における廃棄物発生量を削減し、排出量の削減に努めます。
  - (4) 事務所・現場における水使用量を削減し、排水量の削減に努めます。
  - (5) 事務用品及び調達資材のグリーン購入を優先します。
  - (6) 社員に環境教育を行ない、環境に配慮した工事を行なっていきます。
- 2 環境関連の法令、条例その他を遵守します。
- 3 この環境経営方針は、全社員に周知徹底し、環境レポート等により社外へも公表します。

2018年9月1日  
代表取締役 森木正一

#### 4.環境経営組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>△環境経営に関する統括責任</li> <li>△経営における課題とチャンス の明確化</li> <li>△環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者等を準備</li> <li>△環境管理責任者を任命</li> <li>△環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>△環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認</li> <li>△代表者による全体評価と見直し実施</li> <li>△環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>△環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>△環境関連法規等の取りまとめ表を承認及び遵守評価の実施</li> <li>△環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認</li> <li>△環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>△教育訓練（緊急事態を含む）の実施を指示</li> <li>△是正・予防処置の決定・指示</li> <li>△環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>△環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局</li> <li>△環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>△環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制原案の作成</li> <li>△環境活動の実績集計</li> <li>△環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>△環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>△環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>△環境経営レポートの作成、公開</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>△自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施</li> <li>△自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告</li> <li>△自部門に係る緊急事態訓練の実施</li> <li>△自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>△環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>△決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

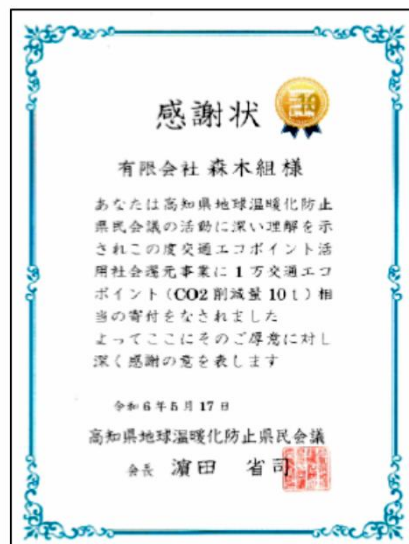
## 5.環境活動の状況

当社は「エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、事業活動に伴う環境負荷の自己チェックを行ない、環境経営目標の達成状況の評価し、改善に取り組んでいます。

☆環境活動の様子



☆受賞等



6.環境経営目標

( 2024 年度)

(I)単年度目標

( 2024 年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年	目標
			2018~2022 年度実績平均	2024 年度 2023.9-2024.8
売上高		百万円	726	
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	18,304	17,938
	原単位	(ℓ/百万円)	25.21	24.71
	事務所	(ℓ)	5,711	5,597
	現場	(ℓ)	12,593	12,341
軽油使用量 現場	総量	(ℓ)	61,779	60,543
	原単位	(ℓ/百万円)	85.10	83.39
灯油使用量	総量	(ℓ)	657	644
	原単位	(ℓ/百万円)	0.90	0.89
	事務所	(ℓ)	111	109
	現場	(ℓ)	546	535
LPG使用量 事務所	総量	(kg)	13	12.74
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.02
電力使用量	総量	(kWh)	55,989	54,869
	原単位	(kWh/百万円)	77.12	75.58
	事務所	(kWh)	5,767	5,652
	現場	(kWh)	50,222	49,218
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	232,389	227,741
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	320.10	313.69
	事務所	(kg-CO <sub>2</sub> )	17,894	17,536
	現場	(kg-CO <sub>2</sub> )	214,495	210,205
水使用量 事務所	総量	(m <sup>3</sup> )	159	157
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.22	0.22
一般廃棄物排出量 事務所	総量	(kg)	180	178
	原単位	(kg/百万円)	0.25	0.25
産業廃棄物排出量 現場	総量	(t)	1,580	1,564
	原単位	(t/百万円)	2.18	2.15
産業廃棄物再資源化率 現場	総量	(%)	100	100
グリーン購入 事務所	総量	(%)	35	39
環境負荷の少ない工事 現場	総量	(%)	(5件/5件)100	100
環境美化活動 事務所	総量	(回)	11	11

\*1.電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(2021年度実績)(2023年5月26日公表)の四国電力調整後排出係数0.532(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

\*2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

\*3.環境負荷の少ない工事

△環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用      △型枠、工事看板への間伐材の使用      △濁水防止対策の実施  
△請負金額が20,000千円以上の工事が対象      △低騒音、排出ガス対策型重機の使用

\*4.化学物質については、使用の実態がないため、目標を設定していない。

(2)中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2018~2022 年度実績平均	2024 年度	2025 年度	2026 年度
				目標		
売上高		百万円	726			
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	18,304	17,938	17,755	17,572
	原単位	(ℓ/百万円)	25.21	24.71	24.46	24.20
	事務所	(ℓ)	5,711	5,597	5,540	5,483
	現場	(ℓ)	12,593	12,341	12,215	12,089
軽油使用量 現場	総量	(ℓ)	61,779	60,543	59,926	59,308
	原単位	(ℓ/百万円)	85.10	83.39	82.54	81.69
灯油使用量	総量	(ℓ)	657	644	637	631
	原単位	(ℓ/百万円)	0.90	0.89	0.88	0.87
	事務所	(ℓ)	111	109	108	107
	現場	(ℓ)	546	535	530	524
LPG使用量 事務所	総量	(kg)	13	12.74	12.61	12.48
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.02	0.02	0.02
電力使用量	総量	(kWh)	55,989	54,869	54,309	53,749
	原単位	(kWh/百万円)	77.12	75.58	74.81	74.04
	事務所	(kWh)	5,767	5,652	5,594	5,536
	現場	(kWh)	50,222	49,218	48,715	48,213
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub>	232,389	227,741	225,417	223,093
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	320.10	313.69	310.49	307.29
	事務所	kg-CO <sub>2</sub>	17,894	17,536	17,357	17,178
	現場	kg-CO <sub>2</sub>	214,495	210,205	208,060	205,915
水使用量 事務所	総量	(m <sup>3</sup> )	159	157	157	156
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.22	0.22	0.22	0.21
一般廃棄物排出量 事務所	総量	(kg)	180	178	177	176
	原単位	(kg/百万円)	0.25	0.25	0.24	0.24
産業廃棄物排出量 現場	総量	(t)	1,580	1,564	1,556	1,548
	原単位	(t/百万円)	2.18	2.15	2.14	2.13
産業廃棄物再資源化率 現場	総量	(%)	100	100	100	100
グリーン購入 事務所	総量	(%)	35	39	41	43
環境負荷の少ない工事 現場	総量	(%)	(5件/5件)100	100	100	100
環境美化活動 事務所	総量	(回)	11	11	11	11

※1 環境経営目標の見直し:2022年度実績を基準とする目標を見直し、2018~2022年度実績の平均を基準とする単年度目標(2023年度)、中長期目標(2023~2025年度)を策定。ただし、水使用量の基準は、2019年度(ほかの年度に比べ、異常に多い)を除く3年間の平均。

※2 目標値については、基準に対し、燃料使用量・電力使用量・CO<sub>2</sub>排出量は毎年1%減、水使用量、一般廃棄物排出量、産業廃棄物排出量は、毎年0.5%減、グリーン購入は毎年2%増としている。

※3 この表については、上記「(1)単年度目標」の表の「電力のCO<sub>2</sub>発生量」に関することなどの備考が同様に適用される。

7.環境経営計画

( 2024 年度)  
 期間: 2023 年9月 ~ 2024 年8月

項目		活動内容	担当者	現場	本社
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料使用量削減	△無人状態の長い停車時はエンジンを切る △不必要品の積載禁止 △現場に見合った重機の選定 △近距離異動は徒歩にする	土木: 横山浩二	○	○
	電力使用量削減	△昼休憩(12:00~13:00)のフロア内完全消灯 △不使用時や無人になるときは最後の人が消灯 △冷暖房の室温管理(夏季28℃・冬季20℃) △太陽光発電を設置し、省エネをする		○	○
水使用量削減(排水量削減)		△水道使用後の蛇口の閉め忘れ確認 △「節水」シールを貼り、こまめに節水の徹底 △高圧洗浄機を長時間使用しない	総務部: 森木佳美	-	○
廃棄物削減	一般廃棄物	△両面印刷、集約印刷によるコピー用紙使用料削減 △失敗したコピー用紙はメモ用紙として使用 △不必要なプリントアウトをしない		-	○
	産業廃棄物	△使用材料を過剰に余らせない △再利用できる資材に分別する △分別を行ない再資源化施設へ持ち込み △マニフェストを適正に発行し、管理する	土木: 横山浩二	○	-
産業廃棄物再資源化率		△再資源化している業者に依頼する		○	-
グリーン購入		△文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録 △プリンタートナーのリサイクル商品購入	総務部: 森木佳美	○	○
環境美化活動		△ロードボランティアへの参加 △会社周辺清掃活動の実施		○	-
環境負荷の少ない工事 (請負金額が20,000千円以上の工事対象)		△低騒音・排出ガス対策型重機の使用 △型枠・工事看板への間伐材の使用 △濁水防止対策の実施 △環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用 ▲下請業者選定にエコ活動実施会社を選ぶ	△土木: 横山浩二 ▲建築: 川村三紀	○	-

※活動内容の日程:冷暖房時の室温管理は夏季(6~9月)、冬季(12~3月)。これ以外については、通年実施

8.環境経営目標の実績

項目	総量・原単位	単位	基準年	目標	実績(年度)		実績値/目標値 (%)	評価	目標未達成の場合の 原因と対策
			2018~2022 年度実績平均	2024 年度 2023.9-2024.8	2024 年度 2023.9-2024.8				
売上高		百万円	726		713				
燃料使用量									
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	18,304	17,938	18,506	103%	×	エコドライブを心掛けたが、遠方の現場での工事の追加に伴う工期の延長が多かったため、目標を達成できなかった。	
	原単位	(ℓ/百万円)	25.21	24.71	25.96	105%			
	事務所	(ℓ)	5,711	5,597	3,355	60%			
現場	現場	(ℓ)	12,593	12,341	15,151	123%			
	総量	(ℓ)	61,779	60,543	48,082	79%	○		
軽油使用量	原単位	(ℓ/百万円)	85.10	83.39	67.44	81%			
灯油使用量	総量	(ℓ)	657	644	312	48%	○		
	原単位	(ℓ/百万円)	0.90	0.89	0.44	49%			
	事務所	(ℓ)	111	109	30.00	28%			
現場	現場	(ℓ)	546	535	282.00	53%			
	総量	(kg)	13.0	12.7	5.8	46%	○		
LPG使用量	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.02	0.01	46%			
電力使用量	総量	(kWh)	55,989	54,869	42,621	78%	○		
	原単位	(kWh/百万円)	77.12	75.58	59.78	79%			
	事務所	(kWh)	5,767	5,652	8,363.00	148%			
現場	現場	(kWh)	50,222	49,218	34,258.00	70%			
	総量	kg-CO <sub>2</sub>	232,389	227,741	190,454	84%	○		
原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	320.10	313.69	267.12	85%				
事務所	kg-CO <sub>2</sub>	17,894	17,536	12,325	70%				
現場	現場	kg-CO <sub>2</sub>	214,495	210,205	178,129	85%			
	総量	(m <sup>3</sup> )	159	157	35	22%	○		
水使用量	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.22	0.22	0.05	23%			
一般廃棄物排出量 事務所	総量	(kg)	180	178	169	95%	○		
	原単位	(kg/百万円)	0.25	0.25	0.24	97%			
産業廃棄物排出量 現場	総量	(t)	1,580	1,564	2,163	138%	×	分別による再資源化に努めたが、工期の延長による追加工事が多く、これに伴い、廃棄物の発生量が多くなり、目標を達成できなかった。	
	原単位	(t/百万円)	2.18	2.15	3.03	141%			
産業廃棄物再資源化率 現場	総量	(%)	100	100	100	100%	○		
グリーン購入 事務所	総量	(%)	35	39	80	205%	○		
環境負荷の少ない工事 現場	総量	(%)	(5件/5件) 100	100	100	100%	○	(11/11件)	
環境美化活動 事務所	総量	(回)	11.00	11	12	109%	○		

\*1.電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(2021年度実績)(2023年5月26日公表)の四国電力調整後排出係数0.532(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

\*2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

\*3.環境負荷の少ない工事

△環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用

△型枠、工事看板への間伐材の使用

△濁水防止対策の実施

△請負金額が20,000千円以上の工事が対象

△低騒音、排出ガス対策型重機の使用

\*4.上半期の目標は、年間目標の1/2と基本としている。

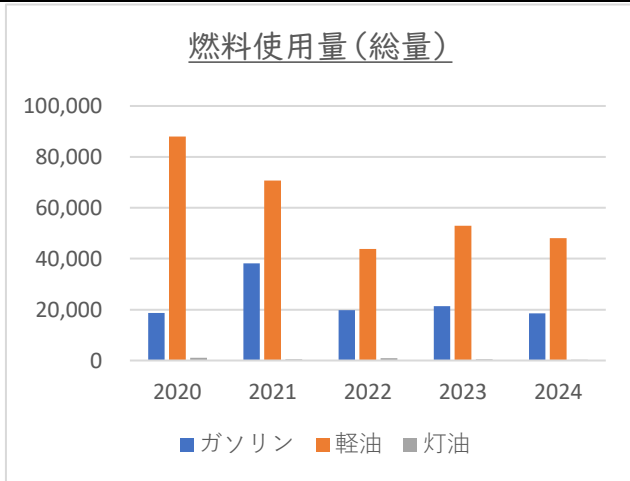
<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2018~2022 年度実績平均	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
				実績			
売上高		百万円	726	448	713		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	18,304	21,328	18,506		
	原単位	(ℓ/百万円)	25.21	47.61	25.96		
	事務所	(ℓ)	5,711	2,546.00	3,354.94		
現場	現場	(ℓ)	12,593	18,782.00	15,151.12		
	総量	(ℓ)	61,779	56,301	48,082		
軽油使用量	原単位	(ℓ/百万円)	85.10	125.67	67.44		
灯油使用量	総量	(ℓ)	657	462	312		
	原単位	(ℓ/百万円)	0.90	1.03	0.44		
	事務所	(ℓ)	111	146.61	30.00		
現場	現場	(ℓ)	546	315.31	282.00		
	総量	(kg)	13	11	6		
LPG使用量	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.02	0.01		
電力使用量	総量	(kWh)	55,989	41,626	42,621		
	原単位	(kWh/百万円)	77.12	92.92	59.78		
	事務所	(kWh)	5,767	7,044	8,363		
現場	現場	(kWh)	50,222	34,582	34,258		
	総量	kg-CO <sub>2</sub>	232,389	209,329	190,454		
CO <sub>2</sub> 使用量	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	320.10	467.25	267.12		
事務所	事務所	kg-CO <sub>2</sub>	17,894	27,524	12,324.67		
	現場	kg-CO <sub>2</sub>	214,495	181,805	178,129.06		
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	159	188	35		
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.22	0.42	0.05		
一般廃棄物排出量 事務所	総量	(kg)	180	174	169		
	原単位	(kg/百万円)	0.25	0.39	0.24		
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,580	715	2,163		
	原単位	(t/百万円)	2.18	1.60	3.03		
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100		
グリーン購入	総量	(%)	35	22	80		
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(5件/5件) 100	(10/10件) 100	100		
環境美化活動	総量	(回)	11	11	12		

\*電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(2021年度実績)(2023年5月26日公表)の四国電力調整後排出係数0.532(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

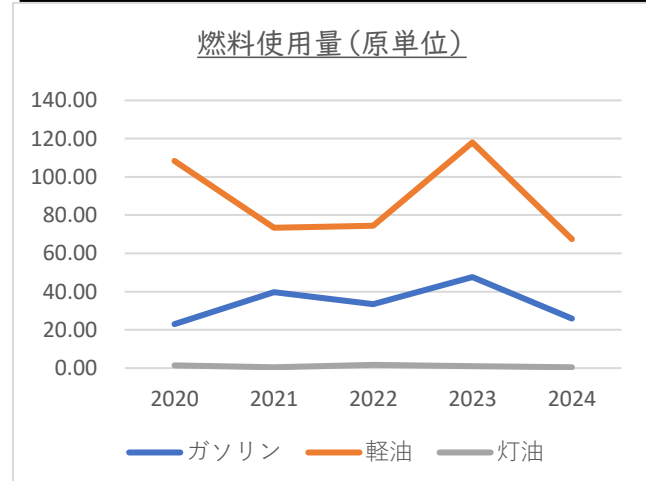
燃料使用量(総量:ガソリン、軽油、灯油)  
単位:㍈/年

年度	ガソリン	軽油	灯油
2020	18,675	88,009	1,120
2021	38,161	70,744	422
2022	19,708	43,807	994
2023	21,328	52,915	462
2024	18,506	48,082	312



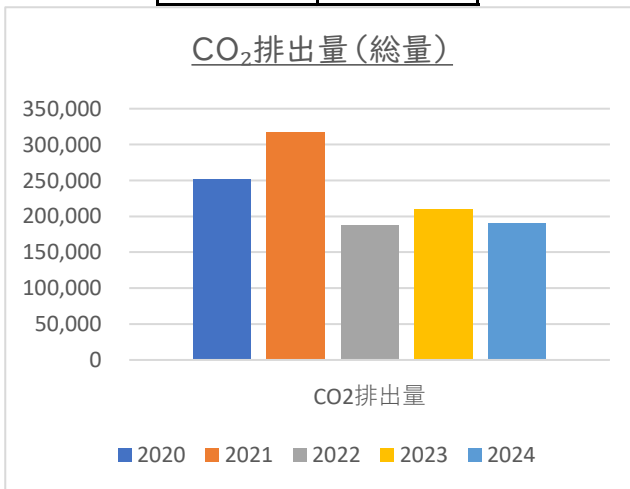
燃料使用量(原単位:ガソリン、軽油、灯油)  
単位:㍈/百万円

年度	ガソリン	軽油	灯油
2020	23.00	108.38	1.38
2021	39.63	73.46	0.44
2022	33.46	74.38	1.69
2023	47.61	118.00	1.03
2024	25.96	67.44	0.44



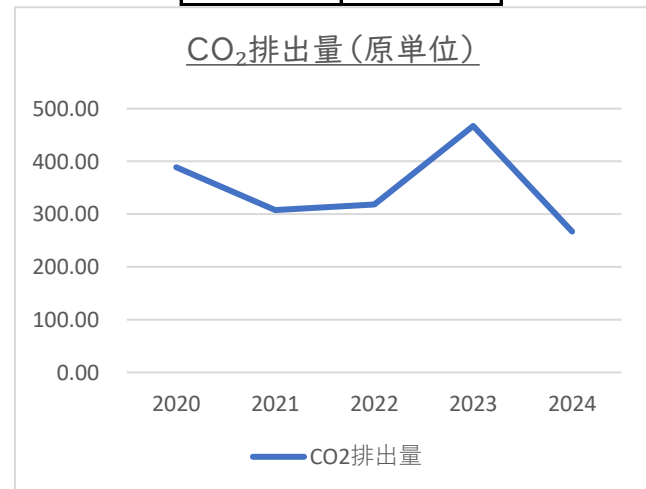
CO<sub>2</sub>排出量(総量)  
単位:㍈-CO<sub>2</sub>

年度	CO <sub>2</sub> 排出量
2020	251,401
2021	316,067
2022	187,516
2023	209,328
2024	190,454



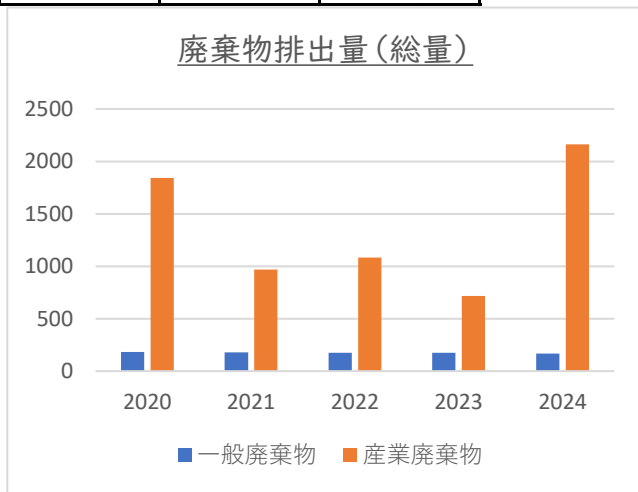
CO<sub>2</sub>排出量(原単位)  
単位:㍈-CO<sub>2</sub>/百万円

年度	CO <sub>2</sub> 排出量
2020	389.25
2021	307.55
2022	318.36
2023	467.25
2024	267.12



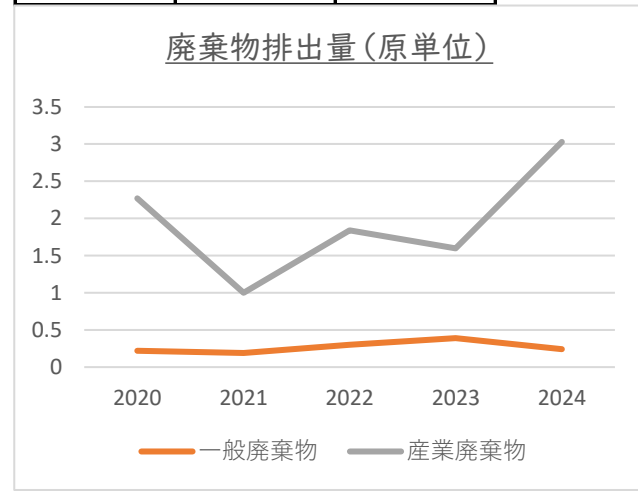
廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)  
 単位:㍑/年(一般廃棄物)  
 単位:㍑/年(産業廃棄物)

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
2020	181	1,841
2021	179	967
2022	174	1,084
2023	174	715
2024	169	2,163



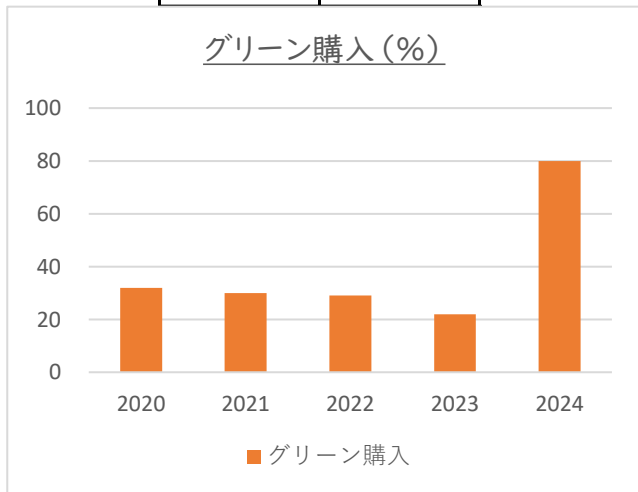
廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)  
 単位:㍑/百万円(一般廃棄物)  
 単位:㍑/百万円(産業廃棄物)

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
2020	0.22	2.27
2021	0.19	1.00
2022	0.30	1.84
2023	0.39	1.6
2024	0.24	3.03



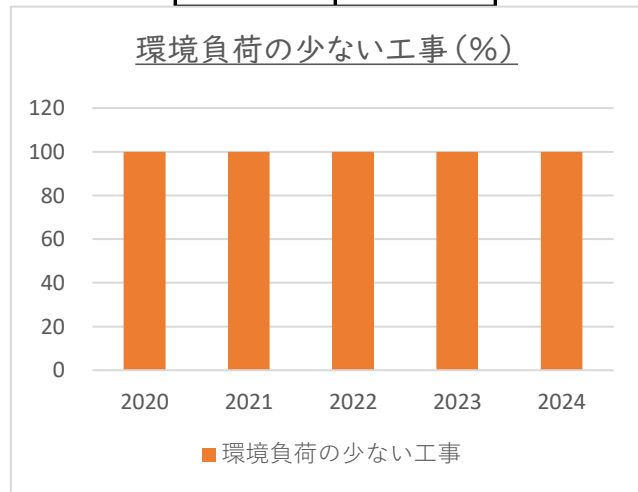
グリーン購入  
 単位:%

年度	グリーン購入
2020	32
2021	30
2022	29
2023	22
2024	80



環境負荷の少ない工事  
 単位:%

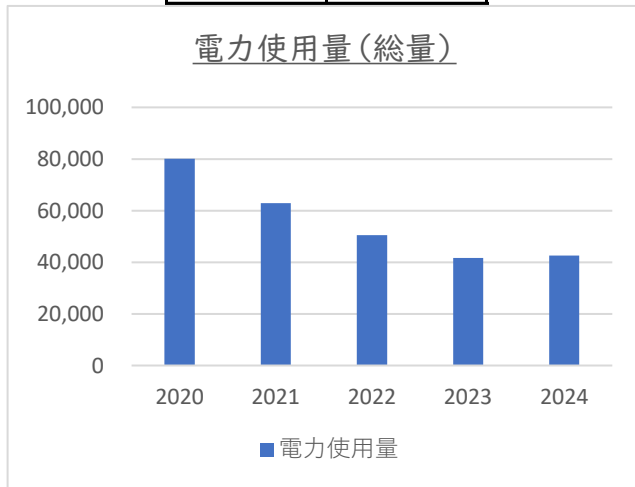
年度	環境負荷の少ない工事
2020	100
2021	100
2022	100
2023	100
2024	100



電力使用量(総量)

単位:kWh/年

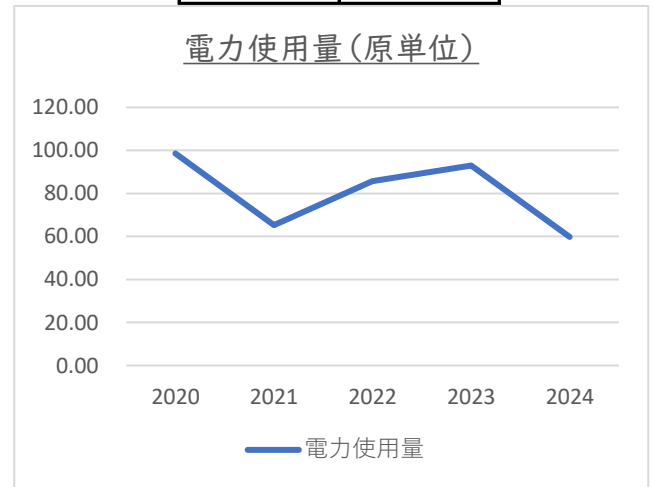
年度	電力使用量
2020	80,044
2021	62,844
2022	50,514
2023	41,626
2024	42,621



電力使用量(原単位)

単位:kWh/百万円

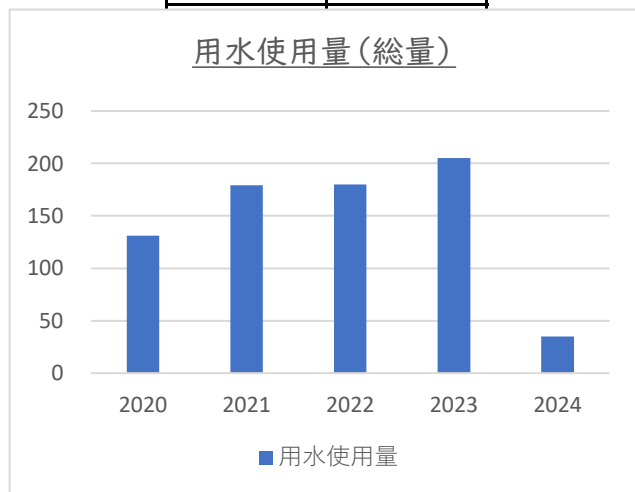
年度	電力使用量
2020	98.58
2021	65.26
2022	85.76
2023	92.92
2024	59.78



用水使用量(総量)

単位:m³

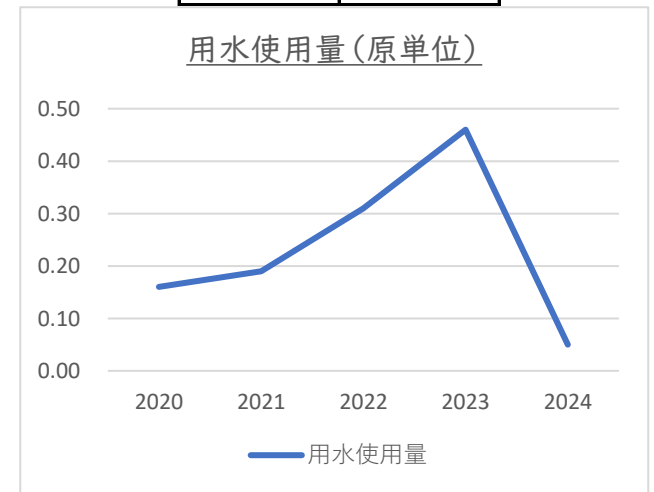
年度	用水使用量
2020	131
2021	179
2022	180
2023	205
2024	35



用水使用量(原単位)

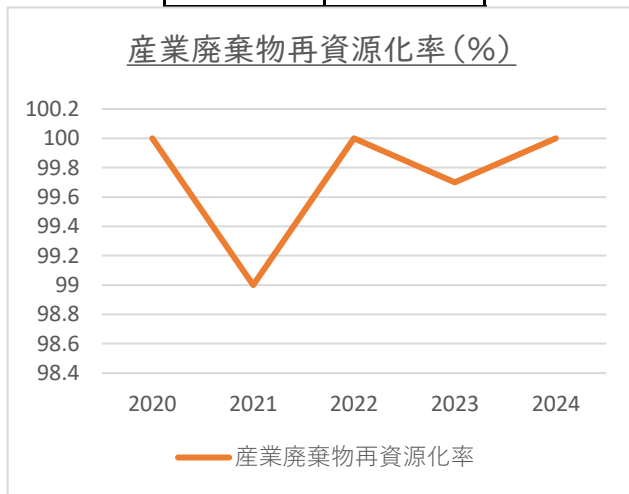
単位:m³/百万円

年度	用水使用量
2020	0.16
2021	0.19
2022	0.31
2023	0.46
2024	0.05



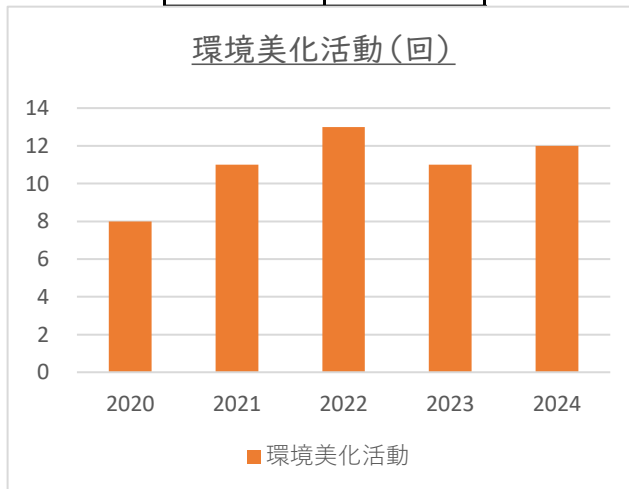
産業廃棄物再資源化率  
単位:%

年度	産業廃棄物再資源化率
2020	100
2021	99
2022	100
2023	99.7
2024	100



環境美化活動  
単位:回

年度	環境美化活動
2020	8
2021	11
2022	13
2023	11
2024	12



9.環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2023年9月から2024年8月

項目		活動内容	担当者	現場		本社		実施状況	取組結果	評価	次年度の対応
				現場	本社	現場	本社				
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料使用量削減	△無人状態の長い停車時はエンジンを切る △不必要品の積載禁止 △現場に見合った重機の選定 △近距離異動は徒歩にする	土木： 横山浩二	○	○	◎	◎	◎	▲車輛・重機のアイドリングストップを実施した ▲不必要品を積み込んだままにしない取組ができた ▲適切な重機の選択をした ▲運転経路の最短距離を選定した	よくできた	継続
	電力使用量削減	△昼休憩（12:00～13:00）のフロア内完全消灯 △不使用時や無人になるときは最後の人が消灯 △冷暖房の室温管理（夏季28℃・冬季20℃） △太陽光発電を設置し、省エネをする		○	○	○	◎	◎	▲昼休憩（12:00～13:00）のフロア内完全消灯した（来客等もなく可能な場合） ▲不使用時や無人になる時は最後の人が消灯した ▲冷暖房の室温管理（夏季28℃・冬季20℃）ができた ▲太陽光発電を設置、省エネをした	よくできた	継続
水使用量削減（排水量削減）		△水道使用後の邪打ちの閉め忘れ確認 △「節水」シールを貼り、こまめに節水の徹底 △高圧洗浄機を長時間使用しない	総務部： 森木佳美	-	○	◎	◎	◎	▲水道使用後の蛇口の閉め忘れ確認できた ▲「節水」シールを貼り、こまめに節水の徹底をした ▲高圧洗浄機を長時間使用しなかった	よくできた	継続
廃棄物削減	一般廃棄物	△両面印刷、集約印刷によるコピー用紙使用料削減 △失敗したコピー用紙はメモ用紙として使用 △不必要なプリントアウトをしない		-	○	◎	◎	◎	▲両面印刷集約印刷によるコピー用紙使用量を削減できた ▲失敗したコピー用紙はメモ用紙として利用した ▲不必要なプリントアウトをしない取組ができた	よくできた	継続
	産業廃棄物	△使用材料を過剰に余らせない △再利用できる資材に分別する △分別を行ない再資源化施設へ持ち込み △manifestoを適正に発行し、管理する	土木： 横山浩二	○	-	◎	◎	◎	▲使用材料を過剰に余らせなかった ▲再利用できる資材に分別できた ▲分別を行ない、再資源化施設へ持ち込むことができた ▲manifestoを適正に発行し、管理できた	よくできた	継続
産業廃棄物再資源化率		△再資源化している業者に依頼する		○	-	◎	◎	◎	▲再資源化している業者に依頼する取組ができた	よくできた	継続
グリーン購入		△文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録 △プリンタートナーのリサイクル商品購入	総務部： 森木佳美	○	○	◎	◎	◎	▲文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録する取組ができた ▲プリンタートナーのリサイクル商品を購入した	よくできた	継続
環境美化活動		△ロードボランティアへの参加 △会社周辺清掃活動の実施		○	-	◎	◎	◎	▲ロードボランティアへの参加ができた ▲会社周辺清掃活動の実施ができた	よくできた	継続
環境負荷の少ない工事		△低騒音・排出ガス対策型重機の使用 △型枠・工事看板への間伐材の使用 △濁水防止対策の実施 △環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品）の使用 △下請業者選定にエコ活動実施会社を選ぶ	土木： 横山浩二 ▲建築： 川村三紀	○	-	◎	◎	◎	▲低騒音・排出ガス対策型重機を使用できた ▲型枠・工事看板への間伐材を使用できた ▲濁水防止対策の実施ができた ▲環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品）を使用できた ▲下請業者選定にエコ活動実施会社を選んだ	よくできた	継続

※活動内容の日程：冷暖房時の室温管理は夏季（6～9月）、冬季（12～3月）。これ以外については通年実施。

実施状況：◎よくできた ○ある程度できた △あまりできなかった ×全くできなかった

10.次年度の取組内容

環境経営目標

( 2025 年度)

(I)単年度目標

( 2025 年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年	目標	
			2018~2022 年度実績平均	2025 年度 2024.9-2025.8	
売上高			百万円	726	
燃料使用量					
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	18,304	17,755	
	原単位	(ℓ/百万円)	25.21	24.46	
	事務所	(ℓ)	5,711	5,540	
	現場	(ℓ)	12,593	12,215	
軽油使用量	現場	総量	(ℓ)	61,779	59,926
		原単位	(ℓ/百万円)	85	82.54
灯油使用量	総量	(ℓ)	657	637	
	原単位	(ℓ/百万円)	0.90	0.88	
	事務所	(ℓ)	111	108	
	現場	(ℓ)	546	530	
LPG使用量	事務所	総量	(kg)	13	12.6
		原単位	(kg/百万円)	0.02	0.02
電力使用量	総量	(kWh)	55,989	54,309	
	原単位	(kWh/百万円)	77.12	74.81	
	事務所	(kWh)	5,767	5,594	
	現場	(kWh)	50,222	48,715	
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub>	232,389	225,417	
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	320.10	310.49	
	事務所	kg-CO <sub>2</sub>	17,894	17,357	
	現場	kg-CO <sub>2</sub>	214,495	208,060	
水使用量	事務所	総量	(m <sup>3</sup> )	159	157
		原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.22	0.22
一般廃棄物排出量	事務所	総量	(kg)	180	177
		原単位	(kg/百万円)	0.25	0.24
産業廃棄物排出量	現場	総量	(t)	1,580	1,556
		原単位	(t/百万円)	2.18	2.14
産業廃棄物再資源化率	現場	総量	(%)	100	100
グリーン購入	事務所	総量	(%)	35	41
環境負荷の少ない工事	現場	総量	(%)	(5件/5件) 100	100
環境美化活動	事務所	総量	(回)	11	11

\*1.電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(2021年度実績)(2023年5月26日公表)の四国電力

\*2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

\*3.環境負荷の少ない工事

△環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用

△型枠、工事看板への間伐材の使用

△濁水防止対策の実施

△請負金額が20,000千円以上の工事が対象

△低騒音、排出ガス対策型重機の使用

\*4.化学物質については、使用の実態がないため、目標を設定していない。

環境経営計画

( 2025 年度)

期間: 2024 年9月~ 2025 年8月

項目	活動内容	担当者	現場	本社
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料使用量削減 △無人状態の長い停車時はエンジンを切る △不必要品の積載禁止 △現場に見合った重機の選定 △近距離異動は徒歩にする	土木: 横山浩二	○	○
	電力使用量削減 △昼休憩(12:00~13:00)のフロア内完全消灯 △不使用時や無人になるときは最後の人が消灯 △冷暖房の室温管理(夏季28℃・冬季20℃) △太陽光発電を設置し、省エネをする	総務部: 森木佳美	○	○
水使用量削減(排水量削減)	△水道使用後の蛇口の閉め忘れ確認 △「節水」シールを貼り、こまめに節水の徹底 △高圧洗浄機を長時間使用しない	総務部: 森木佳美	-	○
廃棄物削減	一般廃棄物 △両面印刷、集約印刷によるコピー用紙使用料削減 △失敗したコピー用紙はメモ用紙として使用 △不必要なプリントアウトをしない	-	-	○
	産業廃棄物 △使用材料を過剰に余らせない △再利用できる資材に分別する △分別を行ない再資源化施設へ持ち込み △マニフェストを適正に発行し、管理する	土木: 横山浩二	○	-
産業廃棄物再資源化率	△再資源化している業者に依頼する	-	○	-
グリーン購入	△文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録 △プリンタートナーのリサイクル商品購入	総務部: 森木佳美	○	○
環境美化活動	△ロードボランティアへの参加 △会社周辺清掃活動の実施	-	○	-
環境負荷の少ない工事 (請負金額が20,000千円以上の工事対象)	△低騒音・排出ガス対策型重機の使用 △型枠・工事看板への間伐材の使用 △濁水防止対策の実施 △環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用 ▲下請業者選定にエコ活動実施会社を選ぶ	△土木: 横山浩二 ▲建築: 川村三紀	○	-

※活動内容の日程:冷暖房時の室温管理は夏季(6~9月)、冬季(12~3月)。これ以外については、通年実施

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(I)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守 状況	確認日	
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 △事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21	
	第11条	産廃の事故処理の責務	必要時		○	2024/9/21	
	第12条	事業者の処理 △産業廃棄物が運搬されるまでの間、産業廃棄物保管基準に従い、生活環境の保全上支障のないようにこれを保管する。 △委託基準を遵守する。(産業廃棄物収集運搬・処分業者との契約書の締結、許可書確認など)	必要時		○	2024/9/21	
	第12条 第10項及び第11項	多量排出事業者(年間1,000t以上)の計画の都道府県知事への提出・報告	1回/年		○	2024/9/21	
	第12条の3	産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付・保存	新規交付時 又は月末		○	2024/9/21	
	第12条の3 第7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県知事)への提出	1回/年 6月迄		○	2024/9/21	
	第12条 第3・4項	事業場外の自らの産業廃棄物の保管場所の設置届出 (建設工事発生物)	必要時		○	2024/9/21	
	第14条 第1項	産業廃棄物の収集又は運搬を業として行なおうとする者は、当該業を行なおうとする区域を管轄する都道府県知事の許可申請が必要			○	2024/9/21	
	第14条第2項	収集運搬業許可は、5年ごとに更新の許可申請が必要			○	2024/9/21	
	第14条 第12項	産業廃棄物処理基準の遵守 【収集運搬基準、積替・保管基準、中間処理・再生基準、処理施設の技術上の基準(構造基準・維持管理基準)】			○	2024/9/21	
	第16条	不法投棄の禁止			○	2024/9/21	
	第16条の2	不法焼却の禁止(一定の場合を除く) (除外の場合:廃棄物処理基準に従う焼却、他法令に基づく焼却、公益上・社会慣習上やむを得ない・生活環境への影響の軽微な焼却)			○	2024/9/21	
	第21条の3.1項	建設廃棄物は元請業者が事業者			○	2024/9/21	
建設リサイクル法	第5条	廃棄物発生の抑制、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材の使用		契約時	現場監督	○	2024/9/21
	第12条	元請業者による事前調査、分別解体等の計画作成、発注者への説明(書面交付) ※第10条:発注者による工事の知事への事前届出(第11条:公共工事の場合は届出に代えて通知)		必要時		○	2024/9/21
	第13条	工事請負契約において、建設業法によるもののほか分別解体の方法・費用等を記載		工事完了時		○	2024/9/21
	第9条、16条	受注者による基準に従った分別解体等の実施、及び再資源化の実施				○	2024/9/21
	第18条	発注者へ特定建設資材の再資源化等が完了したときは書面で報告。再資源化等の実施状況の記録の作成・保存。		○		2024/9/21	
	第21条	解体工事事業者の知事への登録(建設業法の土工事業等の許可を受けた者は必要なし)		必要時		○	2024/9/21
	第31条	技術管理者の選任	○	2024/9/21			
	第33条	現場等における標識の提示	○	2024/9/21			
第34条	帳簿の備え付け	○	2024/9/21				
資源有効利用 促進法	第4条	△建設工事をするとき 原材料等の使用の合理化を行なうとともに、再生資源及び再生部品を利用するよう努力 建設工事に係る副産物を再生資源として利用することを促進するよう努力	必要時	現場監督	○	2024/9/21	
	第15条 34条	△建設資材を使用するとき、指定副産物の排出をするとき 建設業に属する事業を行なう者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める ・再生資源利用計画書(実施書)の作成・保存(竣工後5年間)計画の工事現場での掲示(再生資源利用省令第8条) 建設業に属する事業を行なう者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める ・再生資源利用促進計画書(実施書)の作成・保存(竣工後5年間)計画の工事現場での掲示(指定副産物利用促進省令第7条)			○	2024/9/21	
建設副産物 適正処理推進要綱		建設リサイクル法、資源有効利用促進法の、対象以外の工事、対象規模未満の事業者、対象以外の廃棄物について、法に準じた対応に努力	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21	
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日までに市町村長に届出)	必要時	現場監督	○	2024/9/21	
	第15条	規制基準の遵守(特定建設作業に適用)	○		2024/9/21		
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日までに市町村長に届出)	必要時	現場監督	○	2024/9/21	
	第15条	規制基準の遵守(特定建設作業に適用)	○		2024/9/21		
大気汚染防止法	第18条の15	解体樋工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査をし、発注者へ調査結果を書面で説明すると共に、その結果等を解体等工事現場へ提示。調査結果は知事にも報告。	調査実施時	現場監督	○	2024/9/21	
	第18条の16	下請負人に対する説明(特定工事の場合)(元請業者による)	必要時		○	2024/9/21	
	第18条の17	特定粉じん排出等作業の実施の届出(発注者による)			○	2024/9/21	
	第18条の15 第18条の16	解体等工事に係る調査への協力、適正に工事を実施するための配慮(発注者による)	○		2024/9/21		
	第18条の22	下請負人に対する指導(元請業者による)	○		2024/9/21		
	第18条の19	対象建築材料の除去等の方法による作業の実施(元請業者・下請負人による)	○		2024/9/21		
	第18条の20	・作業基準の遵守(元請業者・下請負人による) ・特定粉じん排出等作業の計画作成、計画に基づき作業実施(元請業者による) ・特定粉じん排出等作業の記録の作成・保存(元請業者による)	○		2024/9/21		
	第18条の23	・作業終了後の発注者への報告・報告書面の保存(元請業者による)	○		2024/9/21		
建築基準法	第28条の2	△石綿含有建材の使用禁止 △クロルジリホス及びホルムアルデヒドを含む建築材料を使用する場合においては、建築基準法施工例で定める技術的基準に適合するものとする	必要時	現場監督	○	2024/9/21	
オフロード法	第4条2項	使用者は特定特殊自動車排出ガスの排出抑制のための必要な措置を講ずるよう努力、国・県が実施する施策に協力	必要時	現場監督	○	2024/9/21	
	第17条	基準適合表示以外の特定特殊自動車の使用禁止			○	2024/9/21	
	第18条	基準適合の状態での特定特殊自動車の使用(適合しない状態の場合、知事による基準適合のための整備命令)			○	2024/9/21	
	第28条	建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針			○	2024/9/21	
排出ガス対策型 建設機械指定制度		オフロード法の規制対象外である建設機械に対する排出ガス対策推進のために国土交通省が定めるもの ・排出ガス基準を定め、これに適合する建設機械を「排出ガス対策型建設機械」として型式指定する			○	2024/9/21	

下水道法の町下水道条例	条第4条	排水施設等の新設等を行なうに際しての基準の遵守	必要時	現場監督	○	2024/9/21
	条第5条	排水設備等の新設等を行なうに際しての計画の提出・管理者による確認			○	2024/9/21
	条第7条	排水設備等の新設等の工事の完了の届出、検査の受検			○	2024/9/21
	条第11条	し尿の水洗面による排除			○	2024/9/21
	条第12条	公共下水道の使用の開始等の届出			○	2024/9/21
	条第8条	特定事業者からの下水の排除基準への適合			○	2024/9/21
	条第9, 10条	排除基準に適合しない下水を継続的に排除するに際しての除外施設設置等			○	2024/9/21
	条第13条	悪質下水の排除開始の届出、悪質下水の変更の届出			○	2024/9/21
	法第12条の3 12条の4	特定施設の設置の届出、悪質下水の変更の届出			○	2024/9/21
	法第12条の9	事故時の措置			○	2024/9/21
グリーン購入法	第5条	できる限り環境物品等を選択するよう努める	購入時	環境管理責任者	○	2024/9/21
地球温暖化対策推進法	第5条	事業者は、その事業活動に関し、温室効果ガスの排出の量の削減等のための措置（他の者の温室効果ガスの排出の量削減等に寄与するための措置を含む）を講ずるように努めるとともに、国及び地方公共団体が実施する温室効果ガスの排出の量の削減等のための施策に協力しなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
	第23条	事業活動に伴う排出削減等に努力	必要時	現場監督	○	2024/9/21
	第25条	排出削減等指針 ※23条、24条について事業者が講ずべき措置の適切・有効な実施のためのもの			○	2024/9/21
省エネルギー法	第4条	エネルギー使用者のエネルギーの使用合理化への努力、電気需要最適化に資する措置実施に努力	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
	第5条	判断基準（エネルギー使用の合理化に係るもの、非化石エネルギーへの転換に係るもの）に基づく措置の実施 電気需要最適化指針に基づく取組の実施			○	2024/9/21
フロン排出抑制法	第16条 第1項	△業務用冷凍空調機器（第1種特定製品）を使用するとき 管理者の判断基準に基づく措置の実施 ・簡易定期点検：3ヶ月に1回以上、定期点検：1年に1回以上（専門業者） ・点検、整備の記録 ・交付される充填（回収）証明書の管理（漏えい量算定に利用）	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
	第41条	△業務用冷凍空調機器（第1種特定製品）を廃棄するとき 廃棄等に際し、第1種フロン類充填回収業者へのフロン類引き渡し（業者が充填なしを確認の場合を除く）			○	2024/9/21
	第43条 第45条 第45条の2	・回収業者または引渡の受託者に回収依頼書、委託確認書を交付（写し保存） ・回収業者からフロン類の引取証明書の受け取り、保存（証明書の不交付、不記載・記載漏れ・虚偽記載の場合、知事に報告）			○	2024/9/21
	第42条	解体工事元請業者は、解体前に第1種特定製品の設置の有無を確認、発注者に書面交付説明（交付書面の写し保存） 発注者は、解体事業者等による第1種特定製品の有無の確認に協力、交付書面の保存			○	2024/9/21
	第86条	フロン類の放出の禁止			○	2024/9/21
FIT法	第6条第7項	適切な保守点検及び維持管理を行なうこと	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
環境基本法	第8条第1項	事業者は、基本理念ののっとり、その事業活動を行なうに当たっては、これに伴って生ずる煤煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講ずる責務を有する	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
高知県環境基本条例	第6条	自然環境を適正に保存するため適切な事業活動をする	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
いの町廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	第4条	事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
いの町ポイ捨て及びふん害防止条例	第5条	事業者は、空き缶等ごみの散乱防止並びに空き缶等の再資源化の促進をはかるために、消費者に対する意識の啓発を図るとともに、その事業活動により地域的美観を損なうことのないように回収容器の設置、その他必要な措置を講じ、散乱防止に努めなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
仁淀川の清流保存に関する条例	第6条	事業者は仁淀川の清流を守るため、常に最大限の努力をするとともに、町長が実施する施策に協力しなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21
道路交通法施行規則	第9条の8	安全運転管理者等の選任を必要とする自動車の台数 △乗車定員が11人以上は1台。その他は5台 △大型自動二輪車1台又は普通自動二輪車1台はそれぞれ0.5台と計算	必要時	現場監督	○	2024/9/21
	第9条の9	安全運転管理者等の要件 △20歳（副安全運転管理者が置かれる場合30歳）以上の者 △自動車の運転の管理が2年（公安委員会の教習を修了した者は1年）以上実務経験を有する者または同等以上の能力を有すると公安委員会が認定した者			○	2024/9/21
	第9条の10	安全運転管理者の業務 一、運転者の適正、及び知識の状況を把握するための措置を講ずること 二、最高速度違反行為、過積載運転、過労運転の防止 三、長距離又は夜間の運転時に疲労等により安全な運転を継続することができない場合の運転者交替			○	2024/9/21
		四、異常な気象、天災等により安全運転に支障が出る場合、運転者に必要な指示、安全な運転の措置を講ずる			○	2024/9/21
		五、△車輛の点検実施 △運転者の健康管理			○	2024/9/21
		六、運転者の酒気帯びの確認			○	2024/9/21
		七、前号の確認の内容を記録し、及びその記録を一年間保存する			○	2024/9/21
		八、運転者名、運転開始終了時間、距離、状況等を運転者が記録する			○	2024/9/21
		九、運転者に対し、運転の技能、知識、安全運転に関する指導を行なう			○	2024/9/21
		製造所、貯蔵所又は取扱所の所有者、管理者又は占有者は、製造所、貯蔵所又は取扱所の位置、構造及び設備が基準に適合するように維持しなければならない			必要時	環境管理責任者
第11条	危険物製造所・貯蔵所・取扱所の設置（変更）に際して許可申請	1回/年	○	2024/9/21		
第14条の3の2	定期点検		○	2024/9/21		
第16条の3	事故時の措置、通報	事故時	○	2024/9/21		
仁淀消防組合火災予防条例	第30条～第31条の9 第46条	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱の技術上の基準の遵守 指定数量未満の危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱（廃止も含む）の届出等	必要時	環境管理責任者	○	2024/9/21

(2)環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年9月より2024年8月まで、環境関連法規等への違反はありません。なお、関係当局による違反の指摘や訴訟、さらには、外部からの苦情・要望等は過去3年間ありません。

12.代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

定期見直し  臨時見直し

実施者:代表取締役 森木 正一  
実施日:2024年11月3日

見直しに必要な情報				代表者による見直し・指示																																																								
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																																								
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 2023年9月より2024年8月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。</p> <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2023年9月より2024年8月まで、問題点の是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。</p> <p>③前回までの代表者の指示事項への対応 なし</p> <p>&lt;改善提案&gt;</p>				<p>【環境経営方針】 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																																																								
<p>【環境経営目標・環境経営計画の達成・実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標達成状況</th> <th>計画実施状況</th> <th>コメント (目標、計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.ガソリンの削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>エコドライブを心掛けたが、遠方の現場での工事の追加に伴う工期の延長が多かったため、目標を達成できなかった。</td> </tr> <tr> <td>2.軽油の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.灯油の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.ガス使用量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.電力の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.CO<sub>2</sub>排出の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7.用水使用量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8.一般廃棄物排出量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9.産業廃棄物排出量の削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>分別による再資源化に努めたが、工期の延長による追加工事が多く、これに伴い、廃棄物の発生量が多くなり、目標を達成できなかった。</td> </tr> <tr> <td>10.産業廃棄物再資源化率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11.グリーン購入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12.環境負荷の少ない工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>(11/11件)</td> </tr> <tr> <td>13.環境美化活動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;改善提案&gt;</p>				目標項目	目標達成状況	計画実施状況	コメント (目標、計画に対するコメント)	1.ガソリンの削減	×	○	エコドライブを心掛けたが、遠方の現場での工事の追加に伴う工期の延長が多かったため、目標を達成できなかった。	2.軽油の削減	○	○		3.灯油の削減	○	○		4.ガス使用量の削減	○	○		5.電力の削減	○	○		6.CO <sub>2</sub> 排出の削減	○	○		7.用水使用量の削減	○	○		8.一般廃棄物排出量の削減	○	○		9.産業廃棄物排出量の削減	×	○	分別による再資源化に努めたが、工期の延長による追加工事が多く、これに伴い、廃棄物の発生量が多くなり、目標を達成できなかった。	10.産業廃棄物再資源化率	○	○		11.グリーン購入	○	○		12.環境負荷の少ない工事	○	○	(11/11件)	13.環境美化活動	○	○		<p>【環境経営目標・環境経営計画・環境関知組織体制】 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
目標項目	目標達成状況	計画実施状況	コメント (目標、計画に対するコメント)																																																									
1.ガソリンの削減	×	○	エコドライブを心掛けたが、遠方の現場での工事の追加に伴う工期の延長が多かったため、目標を達成できなかった。																																																									
2.軽油の削減	○	○																																																										
3.灯油の削減	○	○																																																										
4.ガス使用量の削減	○	○																																																										
5.電力の削減	○	○																																																										
6.CO <sub>2</sub> 排出の削減	○	○																																																										
7.用水使用量の削減	○	○																																																										
8.一般廃棄物排出量の削減	○	○																																																										
9.産業廃棄物排出量の削減	×	○	分別による再資源化に努めたが、工期の延長による追加工事が多く、これに伴い、廃棄物の発生量が多くなり、目標を達成できなかった。																																																									
10.産業廃棄物再資源化率	○	○																																																										
11.グリーン購入	○	○																																																										
12.環境負荷の少ない工事	○	○	(11/11件)																																																									
13.環境美化活動	○	○																																																										
<p>【周囲の変化の状況】</p> <p>①外部コミュニケーション記録より なし</p> <p>②環境関連法規制等の動向他 なし</p> <p>&lt;改善提案&gt;</p>				<p>【その他】 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																																																								
<p>代表者が自ら得た情報</p> <p>なし</p>				<p>【統括】 エコアクション21のシステムとして有効に機能している。  例年と同様の内容ではあるが、継続的な取り組みが確認されており、安定した運用がなされている。今後も健全な環境パフォーマンスを達成できるよう、基本的な要件は変わらず継続し、自らの事業活動に適合した積極的な取り組みをしていく。</p>																																																								